

二俣川 フタマツ川 島山重忠戰死之地 略 ○中

崎玉津 万葉さき玉の津にをる船の風をいたみ綱は絶とも事な絶そね

入間里 同川 さりともとたのむの鴈を頼にて入まの里にけふぞ入ぬる

都筑原 同岡 千載むさし野の草のゆかりも問侘ぬつゞきの原の雪の夕暮 顯昭

武藏野 行末は空も一つにむさしのに草の原より出る月かげ

當國寺社及名所數多不枚擧

〔續視聽草 二集十〕武藏國略圖附略考

名勝

武藏野 多磨入間以下十郡ニカ、ルト云 玉川、狹山、箱池、小山田關、横山、横野、多磨郡 都筑原、都筑岡、都筑里、二俣川、立野、

郡筑 荒蘭崎、荒蘭磯、笠島、在原 向岡、忍岡、忍杜、霞關、角田川、亦打山、菴崎、關屋里、豐島郡 氷河原、足立 入間

里、入間川、三吉野、田能武澤、堀兼井、大屋原、淺羽野、入間野 吉見里、横見 崎玉津、小崎沼、埼玉郡 岡邊原、榛澤

曝井、那珂郡 武藏嶺、蝦手山、海比原、田里、猪名川、大我井、杜、古江浦、岩瀬渡、以上郡未勘

〔廻國雜記〕淺草といへる所にとまりて、庭に残れる草花を見て、

冬の色はまだ淺草のうら枯に秋の露をものこす庭かな、此里のほとりに石枕といへるふし
ぎなる石あり、略 ○中 當所の寺號淺草寺といへる、十一面觀音にて侍り、たぐひなき靈佛にてまし
ましけるとなん、參詣の道すがら、名所ども多かりける中に、まつち山といふ所にて、

争でわれ頼めもをかぬ東路の待乳の山にけふはきぬらん

しぐれてもつるにもみちぬ待乳山落葉をときと木枯ぞ吹、淺茅が原といへる所にて、

人めさへかかれてさびしき夕まぐれ淺茅が原の霜を分つ、おもひ川にいたりてよめる、

うき旅の道にながる、思ひ川涙の袖や水のみなかみ、斯て隅田川のほとりに到りて、皆々歌